sample1102.c で作成する関数の仕様

【関数の名前(function name)】

charge

【関数の機能(functionality)】

オンラインストアでの請求額を求める.

(compute the billing amount at an online store)

【関数の引数 (arguments)】

関数に渡す引数は、表1に示す3つ(order, member, sale)とする.

引数名 型 値と意味 order 注文金額(order total) int 0 < order < 1000000 とし、範囲外はエラーとする int 会員種別 (membership) member 0:普通会員 (regular member) 1:プレミアム会員 (premium member) (0,1以外はエラーとする) セール条件 (sale condition) sale int 0:割引なし (no discount) 1:10%OFF 2:30%OFF (0.1.2 以外はエラーとする)

表 1 引数一覧

【関数の戻り値(return value)】

配送料を含めた総請求額(エラーの場合は -1 とする)

(the billing amount including the delivery charge; -1 indicates ERROR)

- 配送料(delivery charge)
 - ▶ 普通会員の場合:セール条件を適用後の注文金額が2000円未満の場合は 410 円とし, 20 00円以上ならば無料とする.

(regular member: if the total amount after the discount < 2000, the delivery charge is 410 yen; otherwise, it is zero (free).

- プレミアム会員:注文金額に関わらず無料とする.(premium member: it is free regardless of the total amount)
- セール条件適用後(the total amount after the discount)
 - ▶ 10%OFF の場合: 注文金額に 90/100 をかけて得られる整数(小数点以下切り捨て) (10%OFF: the integer obtained by multiplying 90/100 by the order)
 - ➤ 30%OFF の場合: 注文金額に 70/100 をかけて得られる整数(小数点以下切り捨て) (30%OFF: the integer obtained by multiplying 70/100 by the order)

【プログラミングでの注意点】 (programming tips)

注文金額が変数 order に格納されていた時、割引後の金額を order *= 90/100; で求めるのは誤りである。なぜなら、「*=」の右辺が先に計算されるため、結果的にこの式は order = order * (90/100); として計算されて、(90/100) が 0 になってしまう。 この場合は order = order * 90/100; と書いて計算させるのが正解である.

(When you get "10%OFF" value, you should execute "order = order * 90/100." If you execute "order *= 90/100," you will get "order=0" because it means "order = order * (90/100).")

【計算例】(examples)

- ① charge(1100, 1, 0) ... 1110 「注文額 1100 円, プレミアム会員, 割引なし」を意味する. 2000 円未満であるがプレミアム会員なので配送料はかからず, 請求額は 1110 円となる.
- ② charge(0, 0, 0) ... -1 「注文額 0 円, 普通会員, 割引なし」を意味する. 注文額が 0 円であるため, エラーとなる.
- ③ charge(2178, 0, 2) ... 1934 「注文額 2178 円, 普通会員, 30%OFF」を意味する. セールとして 30%OFF なので注文額は 1524 円(小数点以下切り捨て)となり, これが 2000 円未満なので配送料 410 円がプラスされて請求額は 1934 円となる.